

「財部小学校の俵踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	曾於市立財部小学校
2. 学年・人数	5・6年生 86人
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の日時・場所 令和7年 9月22日(月)～10月7日(火)(4回) 令和7年10月6日(月)(リハーサル・運動場)</p> <p>(2) 発表の日時・場所 令和7年10月11日(土) 財部小学校運動会・運動場</p>
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能、伝統 行事、伝統工芸 品について	<p>(1) 名 称 川内(かわち)集落の「俵踊り」「たわらおどり」</p> <p>(2) 由 来 江戸時代、農家二才衆の心身強化、団結、親和を図るとともに、豊作を 神に奉納したことから始まった舞で、都城市周辺で踊られていた。戦後、 隣接する川内集落に伝えられ、30年ほど前から、本校でもふるさとの心を 大切にしようと高学年で取り組み、伝統的に運動会で披露している。</p> <p>(3) 構成等 直径20cm、高さ50cmの円柱形の俵を用いて踊る。3部構成となっており、 1部では直線的に並び、2部では円を描きながら俵を用いて踊る。3 部では、俵を使用せずハンヤ節を踊る。</p>
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	<p>令和2年度から、高学年の2学年で俵踊りに取り組んでいる。4回の練習 では、元保存会会長と昨年度踊った経験のある6年生が5年生に、足の動き や俵の動き、タイミングを教えている。運動会前のリハーサルでは、有志の 会の演奏担当(三味線、太鼓、鐘)の方々に協力を依頼している。小学校では 俵踊りの曲に合わせるのが難しいため、「ハンヤ節」に合わせて踊っている。</p>
6. 取組の様子 (練習状況、発 表の場等)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>【元保存会会長の指導】</p> <p>【運動会での披露】</p> <p>【有志の会の演奏】</p> </div>
7. 感想・意見  (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6年生として、今年も伝統を引き継ぐことができたので、うれしく思う。来年は今の5年生がふるさとを大切にすることを引き継いでくれると思う。</li> </ul> <p>【保存会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保存会は高齢化が進み、活動を休止しているが、学校の運動会行事として俵踊りが残っていることをうれしく思う。児童が踊る姿をみると、指導を通して元気をもらっている。保存会としての活動は終わったものの、今後も学校で続けるのであれば、ぜひ伝承に協力していきたい。</li> </ul>